山鹿市民医療センター開放型病院広報紙　6月号

つばさ

Yamaga Medical Center

発行所　山鹿市民医療センター　〒861-0593　熊本県山鹿市山鹿511番地　TEL 0968-44-2185(代)　FAX0968-44-2420

腫瘍内科外来を開設しました!(「がん」の相談にご活用下さい)

熊本大学医学部附属病院
外来化学療法センター
センター長　陶山浩一先生

熊本大学医学部附属病院がんセンターの陶山（すやま）浩一と申します。今年5月より週1回の腫瘍内科外来を開設致しました。

1. 腫瘍内科とは？

「がん」全般を内科的に扱う科です。抗がん剤による化学療法を得意としますが、がん患者さんの置かれた状況を俯瞰し必要に応じて手術や放射線、内視鏡的な治療を提案・相談しつつ症状コントロールのための緩和治療も必要に応じて行う、といった「がんとうまく付き合う」ためのコーディネーター的な役割も重要な任務としております。

2. がん治療の考え方

現在のがん治療では、手術療法・放射線療法・化学療法が治療の3本柱とされています。個人的には症状に対する緩和医療も重要と考えております。また、最近では免疫療法の理論から発展した免疫チェックポイント阻害薬も開発が進んでおります。これに関してはインターネット検索などで良く出てくるその他の「効果が医学的には実証されていない免疫療法」とは区別して考える必要があります。

がん治療においては上記の治療の手段と共に、その治療の目的を常に意識する必要があります。その治療を行うことで「根治」が目指せるのか、もしくは「根治」は難しいかもしれないが「延命」を図ることができるのか、「延命」も難しいが治療により症状緩和が図れてよりよい生活につながるか・・・その治療の目的によって治療によるメリットと治療によるリスクのバランスが変化するわけです。その辺りの知識と理解に基づく適切な治療選択や患者さんへの説明も我々腫瘍内科医の得意とする分野です。

3. 山鹿市民医療センターでの腫瘍内科外来

当院の腫瘍内科外来では、院外・院内の先生方からのがん医療全般のご相談に対応させて頂きます。血液疾患以外の固形がん全般に対応致します。患者さんからの飛び込みの受診にももちろん対応します。ご要望があればそのまま私が外来主治医となり外来化学療法や症状フォローを担当致します。

その他、院内各部署や近隣の医療機関からのがん医療に関する相談などにも必要があれば対応させて頂きます。「がん」への対応で何か疑問やお困りのことがございましたらいつでもお気軽にお声掛け下さい。

（腫瘍内科外来：6月8日から毎週水曜午前）

基本理念

地域住民の生命（いのち）と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

① 患者さま中心の信頼される医療を行います
② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

腫瘍内科外来を開設しました！…… P 1
登録医のご発言 …… P 2
被災時における感染予防について …… P 2
医療最前線(84) …… P 3
熊本地震について …… P 4
公開講演会のご案内 …… P 5
薬剤師研修会のお知らせ …… P 5
栄養管理室の紹介 …… P 5
外来担当医表（6月） …… P 6

登録医のご発言

医療法人社団藤田会　藤田外科医院
理事長　藤田　馨　先生

4月14日、16日の熊本大地震は、まさに青天の霹靂でした。地震による大勢の被災者、死亡者が出る大災害でした。救急援助隊が全国から駆けつけてくれて、絆の深さを感じさせる出来事でした。

山鹿市民医療センターの広報誌「つばさ」は毎月読ませてもらっています。現在の医療センターの状況、毎週の担当医、新旧の担当医の交代、その他スタッフの現況もわかり易く理解できます。登録医の発言の欄も、医療センターと連携し、相互理解を深め、親しみやすい広報誌となっていると思います。

この度、山鹿市民医療センター「登録医の発言」という事で、投稿の依頼を受けました。早速私の過去の診療関係の係わりを調べてみましたが、実績がほとんど無い事がわかり驚きました。私の診療所は、旧鹿本郡植木町の南端に近く、旧熊本市との境界にあります。近くには熊本市立植木病院があり、日常的に連携し、紹介、逆紹介等、良好に稼動していると思います。救急患者の流れは、国立熊本医療センターを中心に、旧市内へ搬送が多く、精密検査、その他緒検査関係も旧市内への希望が多く、患者さんの要望に沿って行っています。この様な事情から山鹿市民医療センターへの関りが少なかったと思われます。

山鹿市民医療センターには、本年4月より、熊本大学附属病院消化器外科より臨床教授の別府透先生が着任され、専門分野の肝胆膵系疾患の診断、治療が飛躍的に充実されると期待しています。私の所は場所的には遠い存在ですが、これからも登録医として連携し、医療センターが城北地区住民の、生命、健康を守る為に、その役割を果すのに役立ちたいと思います。今後も順調な発展を祈ります。

被災時における感染予防について

被災地では、ようやくインフラが戻りつつありますが、熊本市や益城町、南阿蘇村など、未だ多くの方が避難所で生活しておられます。避難所におけるノロウイルス感染症やインフルエンザなどの集団感染も心配されていましたが、日本環境感染学会などからの感染症予防物品の支援や県内外の感染症診療や予防・制御の専門家、保健師などの介入により、現在のところ、感染症の拡大は確認されておりません。

感染予防策として、簡便かつ重要なのは手指衛生です。これは、避難所生活の中だけでなく日常の生活の中でも、医療関連感染予防でも大変重要です。

今後、気温の上昇と梅雨入りも控え、食中毒の発生も心配されますので、感染予防をはじめとした被災地への支援と協力を行っていきたいと考えております。

平成28年5月11日付け熊本県健康福祉部健康危機管理課長より「避難所で生活している避難者が医療機関を受診した際の情報提供について」の通知が出されています。避難所において適切に対応できるよう、再度、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

感染対策・感染管理に関するご意見・ご質問等がありましたら、お気軽にご連絡いただきますようお願いいたします。

医療管理部感染制御室
廣　瀬　憲　一

医療最前線（84）

B型肝炎ウイルス（HBV）再活性化について

消化器内科　古閑　睦夫　医師

HBV感染患者に対し免疫抑制や化学療法を行うことでHBVが再増殖することをHBV再活性化と呼び、HBV再活性化による肝炎は通常の急性B型肝炎と比較して重症化しやすいことが知られています。

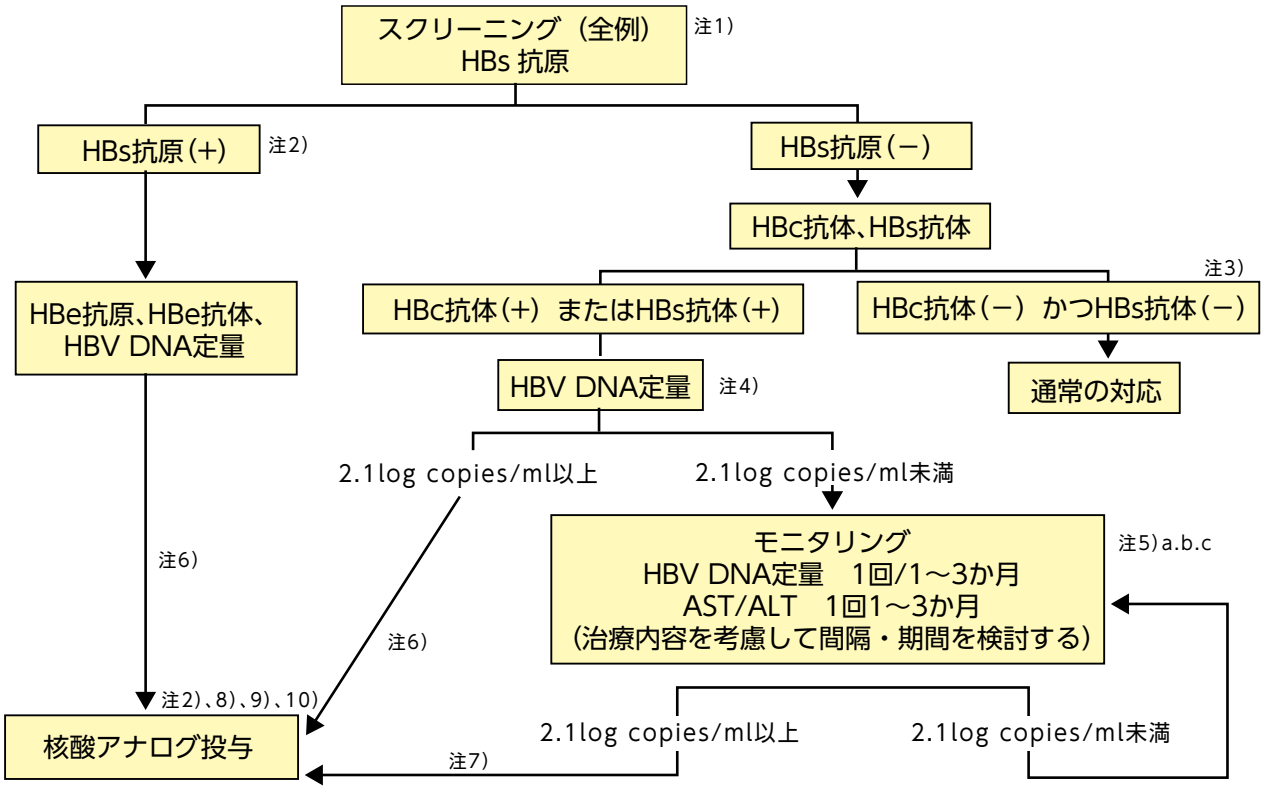
HBV再活性化は、HBs抗原が陽性のHBVキャリアだけではなく、HBs抗原が陰性かつHBc抗体陽性またはHBs抗体陽性の既往感染者でも起こります。というのも、HBV既往感染とは言いますが、実際はHBVが消失した訳ではなく、HBs抗原陽性の場合肝細胞1個あたり5～50個のHBVが感染していたものが、HBs抗原陰性の既往感染者の場合現象はしますがそれでも肝細胞1個あたり0.01～0.001個存在していると言われています。肝細胞は1兆個ありますので、例え細胞1個に0.001個のHBVがいたとしても10億個のHBVが残っていることになります。それが免疫抑制状態になることで再増殖してくるのです。

HBV再活性化の原因薬剤は抗癌剤や免疫抑制剤で、その中には関節リウマチに使う抗リウマチ薬や喘息、膠原病などに使用するステロイドなど、化学療法を行う専門医だけでなく整形外科医や一般内科医なども広く使うものも含まれています。

再活性化のリスクは、免疫抑制の程度と患者側のHBV要因により決まり、免疫抑制要因としては、移植などに伴う免疫抑制が高リスクグループ、リツキシマブ+ステロイドが中リスク、全身化学療法やステロイド投与が低リスクとなっています。患者側の要因としては、HBs抗原陽性のHBVキャリアが高リスク、HBV既往感染者が中リスク、HBV検査全て陰性が低リスクとなっています。ただ、HBV既往感染者にステロイド単剤投与でHBV再活性化が起きたという報告もあり、低リスク群とはいえども注意が必要です。

免疫抑制を行う際にはHBV再活性化のリスクがあること、既往感染でも再活性化することがあることを忘れてはいけません。そして免疫抑制時にはHBs抗原を測定することを忘れがちですが、HBs抗原が陰性であっても必ずHBc抗体、HBs抗体を測定することが大切です。B型肝炎再活性化についてはガイドラインがあり、下記のようなフローチャートがあります。フローチャートに従い核酸アナログ製剤投与が必要となる場合や、免疫抑制時にHBV活性化を心配する場合は、当科など消化器専門科へご相談下さい。宜しくお願いします。

＜免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン＞



熊本地震に対する救援活動について

平成28年4月14日及び16日に発生しました熊本地震により、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

当センターにおきましては、特段の被害も無く通常診療を継続して行うことができました。現在も余震が続いておりますが、熊本地震に対する当センターの救援活動の報告をさせて頂きます。（5月20日現在）

4月14日	21時26分	熊本地震前震発生
	23時頃	熊本県災害対策本部よりDMAT出動要請
4月15日	1時頃	DMAT　1隊目出動（益城町役場、益城町保健福祉センター）
4月16日	1時25分	熊本地震本震発生
	5時頃	緩和ケア病棟入院患者を他病棟へ移動
	6時30分	DMAT　2隊目出動（益城町保健福祉センター）
	17時頃	立野病院避難による入院患者10名受入れ
4月18、19、20日		DMAT　1隊目再出動（菊池市役所、菊池保健所、川口病院）
4月28日		熊本県医療調整本部へ吉岡医師派遣（災害医療コーディネーター）
4月・5月		熊本県看護協会へ看護師派遣（延べ5名）
4月・5月		熊本県作業療法士会へ作業療法士派遣（延べ9名）

派遣以外についても、山鹿市内在住の方は勿論の事、阿蘇の立野病院避難による入院患者の受入れや、熊本市内の医療機関へ通院中・入院中患者さんの受入れを行いました。その他、定期内服薬の代理処方、避難所に避難中の方で突発的にめまい・嘔気が発症してからの受診やエコノミークラス症候群疑いでの受診等、熊本地震による受傷と考えられる患者さんの受入れは、4月22日までに重症0名・中症19名・軽症42名の計61名となりました。

また、第1・2種感染症指定病院である熊本市民病院の病棟閉鎖により、今後熊本県内で感染症が発生した場合、第2種感染症指定病院である当センターまたは熊本宇城総合病院に入院することが決まっております。

最後になりますが、熊本地震後から病床確保のため、退院調整のご相談等でご対応頂きました医師会の先生方および医療機関の皆さまに、この場をかりてお礼申し上げます。ありがとうございました。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先　〒861-0593　山鹿市山鹿511番地　山鹿市民医療センター　地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報がご覧になれます。

http://yamaga-medical-center.jp

ご　案　内

第44回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座1.5単位）

取得カリキュラムコード　番号・コード名
1. 専門職としての使命感 10. チーム医療 15. 臨床問題解決のプロセス

下記により第44回公開講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長
幸村　克典
山鹿市病院事業管理者
豊永　政和

記

日　時：平成28年6月10日（金）19：00～
場　所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演　題：「肝がん治療の進歩
～山鹿市民医療センターの現状を踏まえて～」
演　者：山鹿市民医療センター
副院長兼医療管理部長兼医療安全管理室長
別府　透　医師
会　費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
事務部経営管理課　永田、福山
TEL：0968-44-2185（内線608）

第15回公開薬剤師研修会のご案内

（日本薬剤師会研修１単位認定）

下記により第１５回薬剤師公開研修会を開催致します。院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日　時：平成28年6月17日（金）19:30～21:30
場　所：山鹿市民医療センター　1階医療研修センター
演　題：「AEDについて」
座　長：山鹿市民医療センター　医療技術部薬剤科
副薬剤科長　金森　浩明
演　者：山鹿市民医療センター　医療技術部臨床工学科
主任臨床工学技士　西口　博憲
会　費：無料

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
薬剤科　金森
TEL：0968-44-2185（内線771）

栄養管理室の紹介をさせていただきます

当センター栄養管理室は、先月より管理栄養士2名、栄養士1名の体制となりました。食事提供に関わる給食管理業務と栄養面の支援に関わる栄養管理業務を行っております。

給食管理業務においては、委託スタッフと共に思考を重ねながら、日々安心で安全な食事提供を心がけ、入院患者さまへより良いお食事の時間を過ごしていただけるよう取り組んでおります。行事食のほか、月に一度「お食事の日」を実施しております。内容は日頃の食器での食事とは雰囲気が変わり、弁当箱で提供しております。

栄養管理業務においては入院患者さまの状態に合わせた食事の提供ができるよう、患者さまのお声やチーム活動を通して他部署スタッフとの情報交換を行いながら、栄養状態改善の支援に取り組んでおります。

また、患者さまやご家族への入院・外来栄養食事指導を実施し、ご自宅での食事の支援を行っております。その他、当センターにて開催されます血糖改善セミナーでは糖尿病の患者さまやご家族の方への食事のお話、看護の日や山鹿市健康まつりの際には栄養相談も実施しております。この機会に日頃の食事についてご一緒に振り返ってはみませんか？是非、お越しの際にはご利用いただけましたら幸いです。

今後もこのような取り組みの中で、少しでも皆さまのお力になられるよう、スタッフ一同努めて参りますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

外来担当医表　6月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野　久俊	坂田　典史	―	永野　久俊 坂田　典史	永野　久俊
呼吸器内科	宮川　比佐子	宮川　比佐子	※ 後藤　英介	宮川　比佐子	※ 後藤　英介
循環器内科	大庭　圭介 名幸　久仁	大庭　圭介 名幸　久仁	名幸　久仁 大庭　圭介	※海北　幸一 名幸久仁/大庭圭介	大庭　圭介 名幸　久仁
内分泌・代謝内科	児島　協	―	児島　協	―	児島　協
消化器内科	※ 立山　雅邦	古閑　睦夫	堤　英治	堤　英治	本原　利彦
整形外科 （紹介外来制）	髙木　茂 平山　雄大 横田　秀峰	工藤　智志 平山　雄大	手術（担当医）	髙木　茂 工藤　智志 横田　秀峰	手術（担当医）
外科	別府　透 藏元　一崇	手術（担当医）	池上　克徳 宮村　俊一	手術（担当医）	別府　透 宮村　俊一 古閑　悠輝
乳腺外科	―	※ 末田　愛子	―	―	―
泌尿器科	結城　康平	※山﨑　浩藏(午前) 佐藤　誠(午後)	結城　康平	佐藤　誠	結城　康平
小児科	※ 石井　真美	―	※ 石井　真美 予防接種(午後)	※ 石井　真美	―
感覚器 耳鼻咽喉科	―	※ 深見　直美	―	―	※ 土生健二郎
感覚器 眼科	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔	榮木　大輔
産婦人科	福島　泰斗 井上　弘一	―	福島　泰斗 井上　弘一	福島　泰斗 井上　弘一	福島　泰斗 井上　弘一
	※片渕美和子(午後)　6/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、23(木)、28(火)				
総合診療科	吉岡　明子	宮村　俊一	吉岡　明子	―	吉岡　明子
救急外来	名幸　久仁	吉岡　明子	大庭　圭介	吉岡　明子	宮川　比佐子
健診	豊永　政和 本原　利彦	豊永　政和 本原　利彦	豊永　政和 古閑　睦夫	豊永　政和 古閑　睦夫	豊永　政和 古閑　睦夫

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。
◎小児科診療時間は9:00から16:30（受付は16:00）迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。
※は、熊本大学病院等からの非常勤医。

特殊・専門外来　6月

名称	担当医等	実施日	診察場所
腫瘍内科外来	陶山　浩一	6/8(水)、15(水)、22(水)、29(水)　(午前)	化学療法室
セカンドオピニオン外来	別府　透	毎週　月曜（午前）	外科
禁煙外来（予約制）	坂田　和子	毎週　月曜（午後）	内科
睡眠時無呼吸外来	坂田　和子	毎週　火曜・木曜（午後）	内科
乳腺外来	※ 末田　愛子	毎週　火曜	外科
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	6/7(火)、9(木)、14(火)、21(火)、23(木)、28(火)	産婦人科
ストーマ外来	担当医	毎月　第３水曜（午後）	外科
PEG外来	担当医	毎週　水曜（午後）	外科
緩和ケア外来（予約制）	坂田　典史	毎週　金曜（14:00～16:00）	内科
糖尿病外来	児島　協	毎週　木曜（9:00～12:00）	内科
小児科予防接種	※ 石井　真美	毎週　水曜（受付時間13:30～15:30）	小児科
両親学級（予約制：産婦人科）	助産師	第2･第3･第4日曜日（10:00～12:00） ※産婦人科へお尋ね下さい。	５階病棟

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185　FAX 0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp